

NTT-MEにおけるスマートインフラの取り組み ～最適な道路空間の実現に向けて～

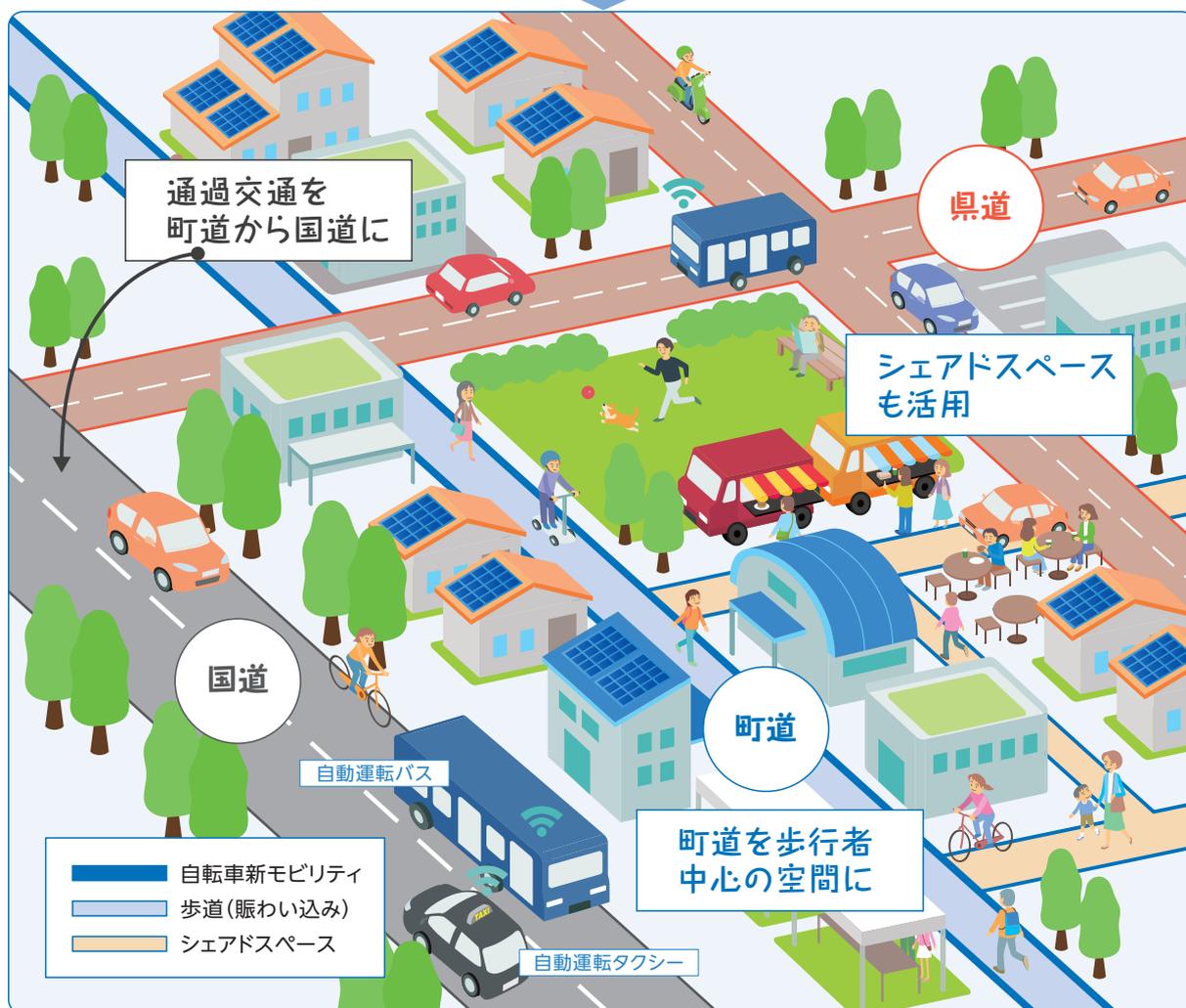
より良い道路空間を実現するためのネットワークアセスメント

NTT-MEは、インフラ設備（道路・道路付属物等）におけるデータ×人流・住民データを組み合わせることで地域のインフラを守り、最適化し、価値向上していきたいと考えています。特に、道路・周辺空間において、データを活用した最適配置・機能^{*1}の検討を行うことで、道路がもつポテンシャルを最大限に発揮し、経済活動への貢献・地域の価値向上をめざしています。

東日本全域の電気通信保守で培った設備保守・管理をMMS等を用いて高度化してきました。これらのデータも活用していくことで地域のインフラ設備管理に応用が可能と考えています。

オペレーション力・技術力を活かし自治体道路維持管理高度化を進めていくことを第一ステップとし、道路のリデザインと地域のトータルマネジメント^{*2}を行うことで自治体さまやインフラ企業と共に持続可能なまちづくりを実現していきます。

NTT-MEと一緒に、道路の使われ方を可視化し、「道路のリデザイン」していきませんか？



*1 機能例:モビリティ最適配置、使用頻度の高い道路のメリハリのついた整備による最適化や自動運転道路確保、渋滞緩和、等

*2 地域のトータルマネジメント:自治体さまの課題に即したソリューション実装、データ分析、データ活用、効果検証等を行い自治体さまの計画に反映し、高度化された道路維持管理

道路ネットワークリデザインに向けてNTT-MEで取り組んでいることの一例を紹介します

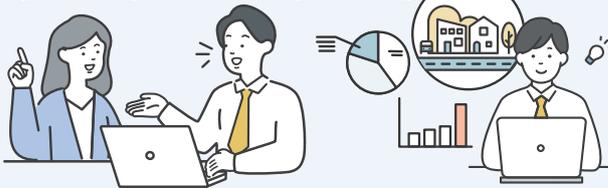
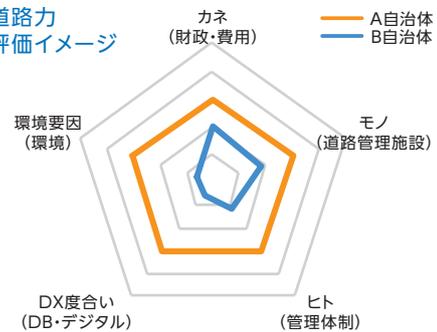
地域の可視化(道路のポテンシャル可視化)

○地域経済の活性化に資する道路力把握

道路使用状況、自治体人数体制、予算等観点から、自治体さまの道路維持管理や道路が機能的に使用されているかをポテンシャルの可視化

ヒアリング

検討

道路力
評価イメージ

インフラ高度化ソリューション例

○画像データを活用した道路点検

- ・ドラレコや高解像度カメラを搭載した車両により道路画像データを取得
- ・得られたデータから道路ヒビを自動検出し、診断を実施
- ・自動で広範囲の点検を実現し、点検稼働の削減



- ・ガードレール：水色
- ・舗：茶色
- ・道路標識：黄緑

○道路台帳の電子化

道路台帳など位置情報を必要とする行政情報を最新のデジタル測量技術によりデジタル化した公開型GISを導入することで、オープンデータとして住民や事業者へ提供し、利便性の向上や利用者の負担軽減、住民サービスの向上を図る。



3D点群データを用いた道路付属物の位置情報精緻化
※他社と協業しながら実現

デジタル台帳作成

